

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6・7年度阿蘇砂防土砂・洪水氾濫対策計画外検討業務
業 務 概 要	計画準備 1式 資料収集整理 1式 計算モデルの準備 1式 被害想定 of 精査 1式 施設配置計画K見直し検討 1式 土砂・洪水氾濫対策計画技術検討会等の資料作成 1式 流木対策計画の事例検討 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 阿蘇砂防事務所長 坂井 佑介 熊本県熊本市東区下南部1-4-73
契 約 年 月 日	令和 6年 8月 9日
契 約 業 者 名	砂防エンジニアリング (株)
契 約 業 者 の 住 所	熊本県熊本市中央区八王寺町30-1 メインプレイス熊本南3F
契 約 金 額	39,941,000円 (税込み)
予 定 価 格	39,941,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	阿蘇砂防事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 8月 10日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 9月 30日
備 考	

## 契約理由書

1. 業務件名 令和6・7年度阿蘇砂防土砂・洪水氾濫対策計画外検討業務
2. 履行場所 阿蘇砂防事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：熊本市中央区八王寺町30-1  
会社名：砂防エンジニアリング株式会社  
電 話：096-370-7707
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、阿蘇山直轄砂防事業における事業計画を対象に、新たな被害想定手法（国総研資料 874 号 1048 号）に基づき事業効果を検証し、妥当性及び効果の高い施設配置計画を検討するものである。また、「土砂・洪水氾濫時に流出する流木の対策計画の基本的な考え方（試行版）」に則り、流域流木対策に向けた流木対策計画を検討する。

- 2) 業務の内容

本業務は、計画準備、資料収集整理、計算モデルの準備、被害想定の精査、施設配置計画見直し検討、土砂・洪水氾濫対策計画技術検討会等の資料作成、流木対策計画の事例検討、報告書作成を行うものである。

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「阿蘇地域における斜面崩壊・土石流に伴う流木の発生形態や被害形態を踏まえ、土砂・洪水氾濫時に流木災害リスクが高い流域の抽出と計画流木量を設定するうえでの留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「その他」における有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「阿蘇地域における斜面崩壊・土石流に伴う流木の発生形態や被害形態を踏まえ、土砂・洪水氾濫時に流木災害リスクが高い流域の抽出と計画流木量を設定するうえでの留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

阿蘇砂防事務所 調査課長